

## 令和6年度都立大江戸高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	国語の知識及び機能を習得するための言語活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・書くことや読むことを重視した授業の実施</li> <li>・言語活動に関する科内研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭での校内短歌コンテストの開催</li> <li>・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施</li> </ul>
数学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎の定着</li> <li>・数学的思考の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な教科会にて指導内容の共有を図る。</li> <li>・校内寺子屋との連携することで、基本的な力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏期講習にて発展的な内容の指導を行う。</li> <li>・考查ごとに振り返りを実施し、学習内容の定着を図る。</li> </ul>
地歴・公民	「主体的・対話的で深い学び」と評価が一体化した指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画を共有、指導事項を確認し、定期的に教科会や科内研修で改善</li> <li>・一人1台端末を活用した探究的な学習の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の相互参観の実施や外部の研修等への参加</li> <li>・オンラインや図書館を活用した協同学習やポートフォリオ評価等の実施</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を主体とした考える学習活動の充実</li> <li>・探究活動の実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験を通じて「仮説」「立証」「考察」の道筋を自らの力で導ける能力を育成する授業展開の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学の受験問題に取り組み、応用的な内容や思考力を問う内容について指導を行う。</li> <li>・実験計画からその課題解決までを自らの力で導く授業を実施する</li> </ul>
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや喜びを味わえる授業の実践</li> <li>・体力や運動技能を高める指導法の改善・充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画を共有、指導事項を確認する</li> <li>・定期的に科内研修の実施</li> <li>・全ての授業で「体カトレーニング」を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の参観の実施や外部の研修等への参加</li> <li>・楽しみながら運動量を確保できるように工夫した授業の実施</li> </ul>
芸術	「表現」と「鑑賞」の学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認</li> <li>・「振り返り」の指導や作品完成後の言語活動に関する共有会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会に向けた作品展示の実施</li> <li>・文化祭等の発表展示</li> <li>・校内の作品展示の開催</li> </ul>
外国語	基礎・基本の徹底と4技能を伸ばす指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な教科会を行い年間指導計画について共有、指導事項について確認を図る</li> <li>・4技能活動に関する共有会の実施</li> </ul>	習熟度別授業を利用した基礎基本の徹底。ペアワーク、グループワークを用いた協働的授業。JET、ALTによる実用的な英語を活用した授業展開。
家庭	実践的・体験的な学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初の教科会で、各授業における指導内容を共有し、年間指導計画を確認する。</li> <li>・グループワークを取り入れ、生徒の主体性を引き出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内に振り返りや反省する時間を設け、次回以降の授業に活かす。</li> <li>・ICT機器を用いた課題提出。</li> <li>・必要に応じて合理的配慮を行っての授業展開</li> </ul>
情報	「課題解決」につながる実習の充実と自己肯定感を高める指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報Ⅰ各単元で、グループ（協働学習）による探究的な実習と個別最適化した学習環境の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラミングやデータ活用などの分野で実践的な課題を行う。</li> </ul>
商業	「ビジネス系資格」受験・取得に向けた、学習活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認する。</li> <li>・ビジネス系の資格取得に向け、定期的な補習の実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格取得で得られる知識と技能に加えて、調べ学習等によって多面的な学習評価を実施。</li> <li>・学習活動の様々な場面をキャリア教育の視点で捉え、経済社会や実務に目を向けさせる授業の実施</li> </ul>